

平成23年度第5回教育研究評議会議事要旨

日時 平成23年9月16日（金）15時30分～17時35分
場所 本部2階大会議室
出席者 佛淵学長、瀬口理事、中島理事、米倉理事、宮崎理事、上野文化教育学部長、富田経済学部長、濱崎医学部長、林田工学系研究科長、遠藤教養教育運営機構長、福本評議員、平地評議員、齋藤評議員、古賀評議員、大島評議員
欠席者 藤田農学部長、稲岡附属図書館長、後藤医学部附属病院副病院長、只木総合情報基盤センター長、
オブザーバー 川上監事 他

○ 前回議事要旨について

学長から、平成23年度第4回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付、確認したところ、加除・修正等の意見はなかったため、原案のとおり確定した旨、報告があった。

○ 審議事項

1. 国立大学法人佐賀大学経営協議会委員の選出について

学長から、本学経営協議会の学外委員について、任期満了に伴い7名の委員を選出するにあたって、教育研究評議会の意見を求める案件である旨の説明があり、学外委員については、引き続き現委員に委嘱する予定で内諾を得ているとの説明があった。また、本委員は学長選考会議の委員となる旨の補足説明があり、審議の結果、了承された。

2. 国立大学法人佐賀大学学長選考会議委員の選出について

学長から、先に審議了承された案件に関連し、本学学長選考会議委員のうち改選を必要とする者について選出する案件である旨の説明があり、審議の結果、了承された。

3. 佐賀大学国際交流推進センター（仮称）の設置について

中島理事から、平成23年10月に設置予定の国際交流推進センター（仮称）設置に関する案件である旨の説明があった。

また、川上学術研究協力部長から、本センターの設置目的及び人事・組織・運営等について補足説明があった。

その後、教養教育運営機構長から、留学生センターの平成24年3月廃止に伴い、教養教育運営機構が教育活動の業務の一部を担うこととなっているため、相互の連携のため、国際交流推進センター（仮称）規則（案）15条の運営委員会に、教養教育運営機構からも委員を選出してはどうかとの提案があり、審議の結果、同規則（案）の15条に教養教育運営機構から選出された教員を追加することとし、了承された。

また、他の評議員から、新たなセンターが設置される際に、本庄キャンパスの川東地区に集中する傾向があるため、スペースが確保できるか、また偏りが無い

か等を事前に十分検討してほしいとの要望があった。この要望に対し、中島理事から施設の利用、運用について施設マネジメント委員会等にて全学的な視点で検討を行うとの回答があった。

4. 国立大学法人佐賀大学国際交流推進センター（仮称）の設置に伴う関係規則等の一部改正について

総務部長から、先に審議了承された国際交流センター（仮称）設置に伴い、必要となる関係規則等の一部改正に関する案件である旨の説明があり、審議の結果、了承された。

5. 国立大学法人佐賀大学教員組織規則の一部改正について

医学部事務部長から、医学部医学科臨床医学系に新たに「国際医療学講座」を新設することに伴い、所要の改正を行う案件である旨の説明があり、審議の結果、了承された。

6. 海洋エネルギー研究センターの時限の取扱いについて

中島理事から、平成20年2月の教育研究評議会及び役員会にて、海洋エネルギー研究センターの時限を平成24年3月末までとしていたが、本センターは文部科学省から平成28年3月末までの期間で共同利用・共同研究拠点の認定を受けているため、これに合わせて時限を平成28年3月末に設定する案件である旨の説明があり、審議の結果、了承された。

○ 報告事項

1. 新理事体制（案）について

学長から、平成23年10月からの新理事体制について、理事1名の交代と業務分担の一部変更等及び経営協議会委員、学長補佐、各センター長等について報告があった。

2. 研究機関における公的研究費の適正な執行のための取組の徹底について

財務課長から、文部科学省より公的研究費の適正な執行のため、預け金及びプール金等の調査の実施及び報告を行うよう通知があったため、研究費不正防止委員会にて調査方法等を定め対応する旨の報告があった。

3. 佐賀大学授業料免除選考の申し合わせについて

瀬口理事から、授業料免除の選考についての取り決めのうち、これまで定められていなかった部分等を明文化したものである旨の報告があった。

4. 「佐賀大学国際戦略構想」への各学部・工学系研究科からの附帯意見に対する対応について

中島理事から、各学部及び工学系研究科から提出された「佐賀大学国際戦略構想」に対する意見について、検討の結果、別紙のとおり対応をまとめている旨の報告があった。

5. 教育研究評議会評議員からの国際交流センター（仮称）に関する意見等について

中島理事から、教育研究評議会評議員から国際交流センター（仮称）に対する意見が別紙のとおり提出されたとの報告があった。中島理事から、貴重な意見であり、今後の検討に当たって参考にさせていただきたい旨の発言があった。

6. ジュアンダ大学（インドネシア共和国）との大学間学術協定の締結について

川上学術研究協力部長から、平成23年7月に本学とジュアンダ大学との学術協定を締結した旨の報告があった。併せて現在の大学間及び学部間交流協定締結校数等について補足の報告があった。

7. 全学委員会からの報告について

瀬口理事、中島理事、米倉理事、宮崎理事から、担当する全学委員会の検討状況について報告があった。

○意見交換

1. 入学者の質の確保について

学長から、今回から本評議会では、テーマを設定し自由な意見交換の時間を設けることとしたい旨の説明があり、初回は入学者の質保証問題について意見をいただきたいとの発言があった。

兒玉アドミッションセンター長及び西郡アドミッションセンター准教授から、入試データに基づき佐賀大学の志願者数・倍率等を全学と各学部別、地域別による現状について、また人口減少率を想定した合格ライン等について説明があった。これを受け、各学部が考える入学者の質とは何か、またそうした中でアドミッションセンターに期待することは何か等、問題提起があった。

これに関して、教養教育運営機構長、文化教育学部長、経済学部長、医学部長、工学系研究科長、農学部評議員から、リメディアル教育等の今後強化すべき点、志願者の地域別マーケット、大学院教育の向上、学生の多様性確保等の感想及び意見等があった。

学長から、次回は教育内容について、次々回は就職に関して意見交換を予定しているとの発言があった。また、アドミッションセンターからは学科・専攻別等の詳細なデータの提供が可能のため、個別に依頼してほしい旨の発言があった。

兒玉アドミッションセンター長から、入試の在り方等の要望について、引き続き意見をお寄せいただきたい旨の発言があった。

○ その他

学長から、平成23年9月をもって退任する評議員の紹介があり、古賀評議員から退任の挨拶があった。

○ 審議事項

7. 非公開

*人事課で記録（非公開）